

問1 1895年の三国干渉によって日本国内でロシアへの警戒感が高まってから、1919年の第一次世界大戦終結（ベルサイユ条約締結）までの期間に起こった歴史的事象として正しいものはどれですか。（2024年 山形公立入試 類似）

1. ロシアの南下政策に対抗するため、日英同盟が締結された。
2. イギリス船が日本人乗客を見捨てたノルマントン号事件が起こった。
3. インドネシアで植民地支配に反対するアジア・アフリカ会議が開催された。
4. 板垣退助らによって民権議院設立の建白書が提出された。

問2 日清戦争後の日本において、軍事力の強化や産業の近代化を目的として行われた政策について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 沖縄公立入試 類似）

1. 下関条約で得た賠償金の一部を投じ、鉄鋼の自給自足を目指して八幡製鉄所を建設した。
2. 欧米諸国との対等な外交を進めるため、鹿鳴館を建設して外国使節を接待する政策を強化した。
3. 蝦夷地を北海道と改称し、開拓使を置いて大規模な屯田兵による開発と防衛を同時に進めた。
4. 国家の仕組みを整えるため、伊藤博文を初代内閣総理大臣とする内閣制度を創設した。

問3 自由民権運動の流れの中で、1874年に板垣退助らが政府へ提出した、運動の出発点ともいえる文書の名称を選びなさい。

（2019年 山口公立入試 類似）

1. 民権議院設立の建白書
2. 五箇条の御誓文
3. 教育勅語
4. 大日本帝国憲法

問4 1888年から1898年頃にかけて、日本で軽工業の産業革命が進展した時期の社会・経済的な状況について、正しい説明はどれですか。（2025年 和歌山公立入試 類似）

1. 蒸気力を利用した紡績業などで機械制生産が普及し、多くの民間企業が設立された
2. 官営模範工場である富岡製糸場が建設され、政府主導による重化学工業化が完成した
3. 世界恐慌の影響を強く受けたため、繊維産業に代わって鉄鋼や造船などの重工業が輸出の中心となった
4. 農村の生活を安定させるため、すべての綿糸工場が国有化され、地租改正によって税負担が軽減された

問5 1890年に初めて開催された第一回帝国議会に関連して、当時、衆議院議員を選出するための選挙権を与えられていた人物の条件として正しいものはどれですか。（2023年 山形公立入試 類似）

1. 直接国税15円以上を納める25歳以上の男子
2. 満20歳以上のすべての男女
3. 地租改正によって土地の所有権を認められたすべての地主
4. 華族や多額納税者の中から互選によって選ばれた者

問6 1894年に始まった日清戦争の講和条約である下関条約の内容について、正しい説明をしたものを選びなさい。（2019年 岡山公立入試 類似）

1. 清に朝鮮の独立を認めさせるとともに、遼東半島、台湾、澎湖諸島を日本へ譲り渡した。
2. ロシアから北緯50度以南の樺太を譲り受け、大韓帝国に対する指導権を日本が持つことを認めさせた。
3. 清から巨額の賠償金を得る代わりに、日本は領土の要求をすべて破棄した。
4. アメリカの仲介によって締結され、日本が山東半島の権益を清から引き継いだ。

問7 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の調印後、日本では日比谷焼打事件をはじめとする激しい暴動が発生しました。日清戦争と比較して、死者数が約1万3000人から約8万5000人へ、戦費が約2億円から約18.3兆円へと、国民の負担が劇的に増大していた統計資料を背景に考えたとき、国民が最も強く反発した条約の内容はどれですか。（2020年 静岡公立入試 類似）

1. ロシアからの賠償金は一切得られなかったこと
2. 韓国（大韓帝国）に対する指導権が認められなかったこと
3. 旅順や大連の租借権をロシアに返還したこと
4. 樺太の全土を領有できず、北緯50度以南にとどまったこと

問8 明治時代初期、欧米の近代的な思想や生活様式が積極的に取り入れられ、伝統的な社会のあり方が大きく変容した現象を何といいますか。（2020年 福岡県公立入試 類似）

1. 文明開化
2. 国風文化
3. 元禄文化
4. 化政文化

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> ロシアの南下政策に対抗するため、日英同盟が締結された。	日英同盟は1902年に締結されました。これは日清戦争後の三国干渉（1895年）を受けてロシアとの対立が深まった時期と、第一次世界大戦（1914～1918年）の終結によって同盟の役割が変化していく時期の間にあたります。ノルマントン号事件は1886年、アジア・アフリカ会議は第二次世界大戦後の1955年、民撰議院設立の建白書は1874年の出来事であり、いずれも指定された期間外です。
問2	<b>答え 1</b> 下関条約で得た賠償金の一部を投じ、鉄鋼の自給自足を目指して八幡製鉄所を建設した。	1895年の下関条約締結後、日本は獲得した賠償金を軍備拡張や重工業化のために活用しました。その代表例が官営の八幡製鉄所であり、日露戦争に備えた軍艦や鉄道の材料となる鉄鋼を国内で生産する体制を整えました。なお、内閣制度の創設や北海道への改称、鹿鳴館の建設はいずれも日清戦争（1894年開始）よりも前の出来事です。
問3	<b>答え 1</b> 民撰議院設立の建白書	征韓論に敗れて政府を去った板垣退助らが、有司専制（官僚による独裁政治）を批判し、公選の議院を設けるべきだと主張して提出したのが「民撰議院設立の建白書」です。これが契機となり、士族だけでなく豪農や商人も巻き込んだ広範な政治運動へと発展しました。
問4	<b>答え 1</b> 蒸気力を利用した紡績業などで機械制生産が普及し、多くの民間企業が設立された	この時期、イギリスから輸入された紡績機と蒸気機関を活用した大阪紡績会社などの成功により、紡績業において機械による大量生産（機械制生産）が一般化しました。政府による官営工場の払い下げも進み、民間資本による軽工業を中心とした経済発展が実現しました。
問5	<b>答え 1</b> 直接国税15円以上を納める25歳以上の男子	1890年の第一回帝国議会に先立って行われた選挙では、選挙権は「直接国税15円以上を納める25歳以上の男子」に限定されていました。この条件を満たす有権者は当時の人口の約1%程度と非常に限られたものでした。全ての男女に選挙権が与えられる「普通選挙」が実現するのは、第二次世界大戦後の1945年のことです。
問6	<b>答え 1</b> 清に朝鮮の独立を認めさせるとともに、遼東半島、台湾、澎湖諸島を日本へ譲り渡した。	日清戦争に勝利した日本は、1895年に清の全権である李鴻章と日本の伊藤博文らの間で下関条約を締結しました。この条約の主な内容は、清が朝鮮の独立を認めること、日本へ遼東半島・台湾・澎湖諸島を割譲すること、そして多額の賠償金を支払うことの3点です。なお、遼東半島については直後にロシア・ドイツ・フランスによる三国干渉を受け、清に返還することとなりました。
問7	<b>答え 1</b> ロシアからの賠償金が一切得られなかったこと	日露戦争は日清戦争を遥かに上回る死者と戦費を投じた戦争であり、国民は多額の増税に耐えながら戦争を支えていました。日清戦争では多額の賠償金を得られた経験から、国民は今回も賠償金によって生活が潤うことを期待していましたが、ポーツマス条約ではロシアから金銭的な補償を一切得られませんでした。この期待と現実のギャップが、講和条約に反対する激しい国民運動へとつながりました。
問8	<b>答え 1</b> 文明開化	明治政府が近代化を推し進める中で、西洋の思想や制度、生活習慣が急速に普及したことを指します。「ざんぎり頭をたたいてみれば、文明開化の音がする」という言葉に象徴されるように、髪型や衣服、食文化（牛鍋など）に至るまで、伝統的な生活様式が大きく変化しました。